れんげ

第131号
令和8年4月20日発行
●発行
社会福祉法人
大北社会福祉事業協会
救護施設れんげ荘
http://www.dhk.janis.or.jp/~rengesou/
E-mail:rengesou@dhk.janis.or.jp
●編集
れんげ編集委員会

れんげ荘ホームページ
http://rengesou.jp

新しい一年、一日の始まり！

れんげ荘理念

共に生きる場として
その人らしい潤いのある
あたりまえの生活に
寄り添います

行動指針

1、私たちは笑顔で接します
2、最後まで話を聴きます
3、想いに寄り添います

基本方針

1、私たちは専門知識と技術に基づいた支援を通じ利用者の自立支援をこころがけます
2、その人らしく生きられる選択肢を提供します
3、自己決定できる環境づくりに努めます
4、社会・地域とのつながりを大切にします

ごあいさつ

今年の冬は例年に比べ雪が少なく、その為か一足早い春の訪れに胸を躍らせている方も多いのではないでしょうか。私自身、今までと違う環境や責任の重さを感じながら、戸惑うことの多い一年でしたが、皆様の温かいお力添えで乗り切ることができました。

前年度を振り返ると、長年れんげ荘で生活されていた方が多く退所されたり、コロナ集団感染が発生したりと様々な出来事がありました。

令和８年度はその前年度の状況を鑑みて、選ばれる施設としての魅力作り、感染症や災害時に備えたＢＣＰの強化、人材不足を補う意味や業務効率化目的の介護テクノロジーの推進等、今後を見据え取り組んで行かなくてはならない事がたくさんあると感じております。また、利用者ニーズに合わせた個室の検討、施設全体のハード面の維持管理も大切なことです。いずれにせよ、課題もあるかもしれませんが職員個々の能力を結集し、利用者の「生活の質」向上を目標に最善を尽くして参ります。

最後にこれからも利用者の気持ちに寄り添いながら、皆様への感謝の気持ちを忘れずに、地域の一番星となれるよう貢献できればと思っております。どうぞ、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和八年四月一日

救護施設れんげ荘　所長　鈴木　敦

～ 地域とともに ～

晴天のもと、ボッチャゴールド会の皆様とモルック体験を通じて交流しました

準備体操をしっかりして
怪我なく楽しみましょう😊

狙いを定めて～
力強い一投！

日帰り旅行

念願の回転寿司を食べたあと
澄んだ空気の中で眺める紅葉
まさに秋のご褒美となった
日帰り旅行でした

俺の一番好きなネタは
マグロだよ

寒い冬は施設内で楽しめる
イベントが盛りだくさんです

サンタさんありがとう
今年のプレゼントは
何かなぁ？

クリスマス会

たくさん悩んで選んだドーナツ
こ～んなに大きな口で
いただきま～す

れんげ喫茶

♫紅白歌合戦♪

気持ちは全員優勝！

令和7年度　相談年間集計結果

内容別		原因別	
1）職員の接遇に関するもの	6 件	1）説明・情報提供に関すること	0 件
2）サービスの質・量に関するもの	1 件	2）職員への要望に関すること	5 件
3）事故・被害・損害に関するもの	0 件	3）サービス内容に関すること（建物、構造に関わること）	1 件
4）事業所運営等に関するもの	0 件	4）金銭上のトラブル	0 件
5）契約内容に関するもの	24 件	5）その他（日常生活の不満、人間関係他）	83 件
6）事業所の建物の構造に関するもの	1 件	原因別相談件数合計	89 件
7）利用者間のトラブルに関するもの	7 件		
8）その他（タバコの本数について、外出外泊について、社会復帰について他）	50 件		
内容別相談件数合計	89 件		

皆様からのご厚志

大町市……原田　年昭　様
大町市……田中　武雄　様
大町ライオンズクラブ　様
平地区　社会福祉協議会
日赤奉仕団　様
ありがとうございました。

寄付のお願い

古くなったタオルや布類、シーツ等がありましたら寄付していただけますと大変助かります。
ご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

山には程よく雪が降り、里は過ごしやすい降雪量のシーズンでした。
花粉をキャッチする時期も年々前倒しになり、今年も例年通りに発症し、くしゃみ鼻水、目のかゆみと奮闘中。
気付けば令和も8年目。現状維持は僅かな後退だとか。日々アップデートを心掛け、一日を大切に過ごしたい。